



すたが

荻田町青少年育成町民会議だより



◀エル荻田前にて



いじめストップ キャンペーン



▲小波瀬西工大前駅にて



▲荻田駅前にて

大人が変われば、子どもも変わる

有書図書・図画等の追放運動

7月27日(金)に町内十三ヶ所の書籍類販売店を訪問し、青少年にとって有害な悪書・ビデオ等の追放運動に協力を依頼し、併せて店内を見学させていただきました。

各店とも常日頃より青少年に対する配慮を心掛けて下さっているようです。

大人の皆さんが常に心掛け、気付いた事がありましたら町民会議事務局へご一報下さい。



非行防止・シンナー等 薬物乱用防止研修会

8月10日(土)に中央公民館にて、研修会が行われました。

講師に京都薬剤師会副会長・五反田仁一郎氏を招き、「薬剤師によるシンナー等薬物乱用防止指導」をテーマに、PTA連合会・生徒指導研修部会・補導環境部会員を中心に、80名の方が参加されました。シンナーの身体に及ぼす害がどのようなものなのか、実験を交えながらの説明に、改めてシンナーの恐ろしさを痛感しました。

我々大人も今一度シンナーの性状等を見直し、保管管理をより厳しくすると共に、家庭での正しい取り扱いを教えることも大切ではないでしょうか。

大人の皆様へ

青少年の育成は、大人一人一人の責務

次代を担う青少年が、社会における自らの役割と責任を自覚し、豊かな個性と能力をつちかい、非行におちいることなく、心身ともに健やかに成長することは、社会全体の願いです。一人一人の子どもたちは、各家庭の宝というだけでなく、社会全体の宝だと言えます。まず、大人自身が、社会の基本的なモラルやルールを身をもって伝えていくという姿勢を示すことが求められています。

また、より多くの皆さんが、それぞれの立場で、青少年が健やかに育つための行動に積極的に取り組むことが望まれます。



家庭のあり方をふり返ろう

家庭は、子どもにとって人格形成の行われる最初の場所です。親は、子どもの基本的な人格形成については自らに責任があることをはっきりと自覚しましょう。また、基本的な生活態度や社会規範などを子どもに伝達していく責務を、子ども本人に対してだけでなく、社会に対しても負っていることを強く認識しなければなりません。特に今、父親の子育てへの参画が強調されています。

家庭でのしつけ、ふれあいと信頼関係の大切さなど、家庭のあり方を見直しましょう。

地域で一体となって青少年の育成を

青少年の健全育成のためには、家庭や学校、関係機関などの努力だけでは足りません。

地域において、日ごろから子どもたちを温かく見守り、励まし、ときには注意したりすること、有害な情報や環境から子どもたちを守ることなど、より多くの人々が様々な地域活動に関わることが、青少年の健全育成に大きな力となります。

また、子育てについて相談相手もなく孤立した親を経験のある人たちが支えたり、父親同士で子どもの育成に取り組んだりする地域活動なども望まれています。

青少年の多様な社会参加活動を支えよう

変化の激しいこれからの時代を支える青少年の育成のためには、様々な社会参加活動を通じて、より多くの青少年が自律性や社会性をはぐくむことができるようにすることが重要です。

そのためには、より多くの大人たちが、青少年と一緒に、ボランティア活動、スポーツ・文化活動などの社会参加活動に取り組むことも望まれます。



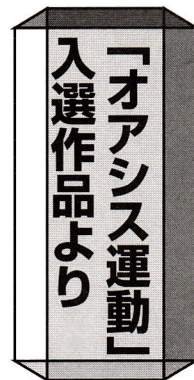
11月

全国青少年健全育成強調月間
青少年を明るくのびやかに育てよう

荻田町青少年
育成町民会議

平成14年度 苅田町「家庭の日」・「オアシス運動」町内入選者一覧表

		会長賞	教育委員会賞	家庭部会賞	金賞	銀賞	銅賞	佳作
作 文		苅田小 6年 きよはら けん 喜代原 拳人	苅田小 6年 かつの りな 勝野 利奈	苅田小 6年 くわばら こうき 桑原 康樹	片島小 5年 うつのみや たいち 宇都宮 太一	与原小 3年 かわぐち たかふみ 川口 嵩文	苅田小 5年 はらだ みか 原田 美香	新津中 3年 たなか けいこ 田中 敬子
		新津中 2年 くわばら あや 桑原 彩	新津中 3年 うえの とむひろ 上野 倫弘	南原小 3年 おがた むぎき 緒方 水紀	白川小 1年 つづお 哲寛	南原小 5年 すえまつ たけのり 末松 丈典	新津中 2年 ふじむら えり 藤村 衣里	新津中 2年 おかの さおり 岡野 沙織
標 語	小学生	白川小 6年 ふじむら りょうま 藤村 竜馬	南原小 6年 やまだ めぐみ 山田 恵	白川小 4年 ふじむら しんたろう 藤村 慎太郎	白川小 4年 もり ゆきな 森 由希奈	白川小 5年 ももどみ のりあき 百富 乃璃彰	白川小 5年 とみむら かずね 富村 和音	苅田小 5年 井上航 片島小 5年 新香織 与原小 6年 國松えみ
	中学生	苅田中 3年 かわさき あい 川 愛	苅田中 3年 たなか えいこ 田中 詠子	苅田中 3年 にしの 西野 篤史	苅田中 3年 はたけだ とむひこ 畠田 朋彦	苅田中 3年 いとう 功育	苅田中 3年 ながはま ゆか 永濱 由佳	白川小 6年 田中紀久子 苅田中 3年 はら すみと 原 純人
	1年生	苅田小 ながた こうへい 長田 康平	与原小 みやもと ゆう 宮本 祐有	苅田小 ありひさ 英志	与原小 おがた りょう 尾形 峻	苅田小 は びろ 羽廣 隆綺	南原小 いのうえ ななみ 井上 菜々美	苅田小 えがち まいこ 江渕 麻衣子
	2年生	南原小 ちよまる ゆみ 千代丸 祐実	苅田小 すどう たい 須藤 愛	苅田小 ありのぶ 大夢	苅田小 かわた ゆい 川田 唯	苅田小 ごとう いくみ 後藤 郁巳	与原小 みよし さやか 三吉 爽香	南原小 うえだ まかこ 上田 実花子
道	3年生	苅田小 おおつ みほ 大津 美歩	馬場小 くろせ ももか 黒瀬 桃佳	馬場小 むらせ むえ 村瀬 萌	与原小 ながさき さちこ 長坂 紗智子	苅田小 えとう もも 江藤 萌々	与原小 おおつば ふみか 大坪 史果	与原小 増田 有莉 片島小 吉梅 喜衣
	4年生	苅田小 いずみ ひろき 泉 弘幸	苅田小 やまだ さゆみ 山田 紗弓	馬場小 なかわら あきら 中村 晃	南原小 むかい ゆうた 向井 優太	苅田小 うしじま ようこ 牛島 陽子	馬場小 かなまる ともみ 金丸 朋未	馬場小 大下有紀子 南原小 岩田 朋子
	5年生	苅田小 あらまき ちはる 荒巻 千春	与原小 ますだ りさ 増田 りさ	苅田小 ふじい さあしや 藤井 紗沙	片島小 むぎた かずひさ 麦田 和寿	苅田小 しまむら あずさ 嶋村 あずさ	片島小 うつのみや たいち 宇都宮 太一	馬場小 萬納寺美樹 与原小 東 良樹
	6年生	苅田小 いまむら のりひろ 今村 憲弘	与原小 いもと あき 井本 有紀	南原小 いまむら しゅうへい 今村 周平	与原小 おおうえ こうき 大上 巧貴	南原小 むかい りょうせ 向井 亮介	苅田小 よしだ かすみ 吉田 香純	与原小 石井 里美 苅田小 荒牧孝爾
	中学生	苅田中学 2年 やまた ひろえ 山下 ひろえ	苅田中学 1年 ひろもと かな子 廣本 かな子	苅田中学 3年 ごとう 春菜 後藤 春菜	苅田中学 1年 やまもと 陽子 山本 陽子	苅田中学 3年 ふじおか 良輔 藤岡 良輔	苅田中学 1年 おだ あおい 小田 葵	苅田中 1年 河本笑佳 苅田中 1年 徳富理恵



会長賞

家族とのふれあい

苅田小6年 喜代原 拳人
 ぼくの家族は、仲が良い。でも、今年の夏は、もつと仲が良くなった。そのわけは、一泊二日の旅行に行ったからだ。朝早く起きたみんなは、ウキウキしていた。ホテルの外のプールでは、みんな笑っていた。また、いちだんと、仲が良くなった。部屋の中では、みんなでいる時間が長かったのでもた、仲が良くなった気がする。

プールには、自転車で行った。みんなで自転車に乗ったのは、初めてだった。妹は、まったく自転車にも、三輪車にも乗ったことがないのに、いきなり、「自転車に乗りたい。」と、言い出した。しかたなく、お母さんが、補助自転車を借りてくれた。そして、妹はぼくたちと乗れるように練習をした。妹が、うまく乗れないので、手本をみせてやると、おろおろしながらなんとか乗って遊んでいた。ぼくは、それを見ながら、小さいしかわいいな〜それに、

標語

◆ 小学校の部

あいさつは、心がはずむ 贈り物
 ありがとう 言えば周りに 笑顔あり
 あいさつは 友達作る 第一歩
 あいさつは みんなの心 つなぐ橋
 笑顔であいさつ あかるい一日
 だれにでも 元気に言おう おはようと
 だんらん の えがおが作る 家族の輪
 おはようのあいさつ 今日も一日よい気分
 あいさつは 人の心を つなぐもの
 につこりと ほほえむ笑顔がうれしいな

◆ 中学・高校の部

あいさつは 待つより先に わたしから
 ありがとう 心に響く 人の声
 あいさつは かわいた心の オアシスだ
 あいさつは きもちをつなげる 虹の橋
 ありがとう 感謝の気持ちも 大切に
 はじめよう 心のこもった あいさつを
 友達に 助けられたら ありがとう

川崎 愛
 田中 詠子
 西野 篤史
 畠田 朋彦
 伊藤 功育
 永濱 由佳
 原 純人

藤村 竜馬
 山田 恵
 藤村慎太郎
 森 由希奈
 百富乃璃彰
 富村 和音
 井上 航
 新 香織
 田中紀久子
 國松 えみ

こけないようにずっと付いてや
 りたいなと思ったその時、やつ
 ぱりこけた。夕方、ぼくは腹が
 痛くなった。お母さんやお父さ
 ん、弟や妹も心配してくれた。
 心配してくれてありがとうと思
 った。遊園地の乗り物にも、み
 んなでいっしょに乗ることがで
 きた。それは、今までは妹が小
 さかったの、だれかが妹とい
 っしょに残らないといけなかつ
 たからだ。みんな笑っていた。

やつぱりぼくの家族は
 仲がいい。夏の間ぼく
 のお父さんは仕事で家
 に帰るのがおそいし、
 朝も早いのでお父さん
 には、ほとんど会えな
 かった。旅行に行つて
 みんなでいる時間はと
 ってもたのしい時間だ
 った。ずっと仲良しで
 いたい。

教育委員会賞

「人と人とのあいさつ」

荻田小6年 勝野 利奈

わたしは、朝、学校に行ったらまずあいさつをします。でもなんであいさつをするのかなあと思いました。そこでちょっと考えてみました。わたしは先生や友達に「おはよう」とか「おはようございます」とか言う先生は「おはようございます」友達に「おはよう」と言ってくれます。その時はうれしいです。でも反対に、わたしが友達に「おはよう」と言って友達が「……」と言う時はちょっといやです。と言うようにあいさつはうれしい時とかなしい時があると思いました。うれしい時の場合で友達が作れたりするかもしれない。でもかなしい時の場合はまた今度その人にあいさつをしてみればいいと思いました。

でもわたしは、たまに先生が「おはようございます」と言っても「おはようございます」と言っていない時もありました。だからその時先生は多分いやな気持ちだったと思いました。だからこんどからは、ちゃんと言おうと思いました。でもこれであいさつが大切だということが分かりました。だから一人一人が、あいさつをすれば、みんなうれしい気持ちで、教室に入れると思います。でもそうゆうこと言ってもしない人たちがいます。そのためかは分からないけど

ど先生たちがいつも信号の所であいさつをしています。そう思ったら先生たちはすごくいいことをしていると思いました。あと赤十字委員会とかも毎日朝信号の所であいさつをしています。だからとにかく一人一人があいさつをすれば何も問題ないと思いました。だからわたしもこれからはあいさつをしようと思いました。

家庭部会賞

僕の兄弟

荻田小6年 桑原 康樹

僕の家は六人家族で、お父さんとお母さんとお兄ちゃん三人と僕です。みんな二年ずつ学年がちがうので、学校では、自分の名前と呼ばれる時と、〇〇ちゃんの弟と呼ばれる時があります。一番上は高校三年生で体も一番大きくて、いつも音楽ばかり聞いています。二番目は合気道をやっていて、かなりいばっています。三番目はマンガが好きで、おまけに目覚まし時計でも起きないくらいねぼすけです。僕はゲームが好きでおかしな中で、僕はゲームが大好きです。僕たちは前は四人同じ部屋だったけれど、今はお兄ちゃんたちが勉強しなければいけないので、二人ずつになりました。四人いっしょの時はよくけんかをしていて、けんか二人ずつにな

ってからけんかする数が減りました。食事、朝は、小学生は僕だけなので、お兄ちゃんたちが学校に行ったら後一人だし、夜も最近はお兄ちゃん二人が部活でおそいでいっしょに食べる事が少なくなりました。最初は少ない方が静かだと思ったけど、一人でもいないとなんとなくさびしいです。夏休みの間はみんなそろってたのにぎやかだったけど、二学期が始まったらまたばらばらな時間で過ごすことになりました。それで、夏休み最後の日曜日にレストランに行っていたら面白い話をしながら食事をしていました。特に面白かったのは、僕の背よりも大きな甕にもし落ちたらどうやって脱出するかと言う話の時でした。やっぱりご飯はみんなで食べた方がおいしいなと思いました。帰る時お店の看板にヤモリがいたのでしばらく見ていたら動きが面白くてみんな笑ってしまいました。けんかする時もあるけどやっぱりみんないっしょの方がいいです。

金賞

ぼくの家

片島小5年 宇都宮 太一

ぼくの家は、お寺です。「きみよう、むりよう、じめにようらい。」毎朝、六時五十分からおじいちゃんとおばあちゃんとお母さんとお父さんと本堂でお経を読みます。ぼくは、一日の始まりです。

ぼくの家では、家事を分担しています。おじいちゃんはお寺の仕事や野菜作り。おばあちゃんはお買い物や食事の用意。お母さんは、夕方六時まで病院でのお勤め。ぼくは、ふろのそうじやねこ、犬などの生き物の世話。みんな毎日することがあります。

一日の中で一番楽しいのは、夕食の時間です。家族四人でその日にあったことをいろいろ話します。夕食が終わると、散歩に行くこともあります。また、みんなで食事に行ったり、旅行に行ったりします。夏休みには、黒部ダムに行き、楽しい思い出ができました。

でも、少し心配なことがあります。それはおじいちゃんもおばあちゃんも年をとってきたことです。ふたりとももうすぐ七十才になります。おばあちゃん、つかれやすく、すぐ横になったり、病院にいったりしています。おじいちゃんも、まだまだ元気ですが、ぼくとキャッチボールをしたり、サッカーをしたりします。しかし、「こしが痛い。」とか「足が痛い。」とか言っています。よくマツサージに行っています。

ぼくは、少しでもおじいちゃんをおんを楽にしてあげたいと思います。お盆にはお寺の仕事を少し手伝いました。去年の夏休み、京都で得度式を受け、毎朝難しいお経をおじいちゃんから習っています。難しいお経を読めるよう

県入選

最優秀賞

● 標語

荻田中3年 川崎 愛

優秀賞

● 標語

白川小5年 井上 航

奨励賞

● 標語

白川小4年 森 由希奈

● 作文

片島小5年 宇都宮太一

● ポスター

白川小1年 幸 哲寛



福岡県「家庭の日」「オアシス運動」表彰式
平成14年11月2日広川町
川崎 愛さん（右端）

新津中学校部活紹介

ふれあい

(内は一年生・二年生の合計人数です。)

インタビュー 19

◆野球部 (二十名)

今年は目標でもあった京築地区初の3年連続県大会出場を決める事ができました。新チームでは九州大会を目標にすえ頑張っています。応援よろしく願います。

◆陸上部 (二十名)

新人の県大会を目指して頑張っています(10・20北九州 本城) ☆県大会出場種目
男子…砲丸投げ・三種競技B
走り幅跳び

女子…100m・200m・80mハドル、800m・400mリレー、三種B

◆女子バレー部 (十二名)

ここ数年、何度も県大会出場を果たし、たくさんの先輩方が高校でも活躍しています。練習は厳しいですが、キャンプ等のレクも多く、楽しくまたやりがいのある部です。「礼儀」を大切にしています。

◆サッカー部 (十二名)

少ない人数ですが、活気あふれる部です。新人戦では、県大会出場を目指し、全力で行くので、ご声援、宜しくお願いします。



サ ッ カ ー 部

◆男子ソフトテニス部 (三十一名)

基本的な技術を身につけるとを目標に頑張っています。10月の下旬に新人戦があるので、試合に参加できるように今練習に励んでいます。

◆女子ソフトテニス部 (十三名)

毎日暗くなるまでボールを追って、練習に励んでいます。新チームになって初めての大会が

続くので、よりよい結果を出したいと思っています。

◆剣道部 (六名)

声の大きさは負けまいと、気合を入れて頑張っています。大会では、「心、技、体」の精神で、一人一人の良さを発揮して上位をねらいます。



剣 道 部

◆男子バトミントン部 (三十名)

週4回体育館で練習しています。昨年の新人戦の郡大会で優勝しましたので、今年の新人戦は、ぜひ、地区で勝って、県大会に出場したいと思っています。

◆女子バトミントン部 (三十四名)

人数が多いため練習場所の確保に苦労し、11月の新人戦では県大会へ出場できるよう日々努力を重ねています。応援よろしくお願いします。

◆男子バスケット部 (二十五名)

ほくたち男子バスケットボール部は、「県大会出場」を目標に毎日厳しい練習に取り組んでいます。また、中学生としての規律を守り、望ましい生活習慣を養うことも学んでいます。

◆女子バスケット部 (七名)

少ない人数ですが、地区大会出場を目標に日々練習に励んでいます。技術の向上とともに、規律、礼儀など、人間としての資質の向上を心がけています。



女子バスケット部

◆家庭科部 (二名)

今年は作ったお菓子を持って、苅田町の老人福祉施設「博愛苑」を訪問させていただきました。またこれからもこういった活動を続けていきたいと思っています。

◆美術部 (二十五名)

目標は「いろいろなコンクール」

※次回は苅田町サッカー少年団を予定しています。



ブラスバンド部

◆ブラスバンド部 (四十三名)

毎日、みんなで楽しく練習しています。目標は毎年夏に行われる吹奏楽コンクールで金賞をとること。今は11月の小中高連合音楽会に向けてがんばっています。

◆福祉ボランティア部 (八名)

町内にある老人保健施設「博愛苑」との交流も三年目を迎え、生徒も自然に接することができるようになりました。また、今年は地域のボランティア「苅田あざみ政治学級」の方と花づくりを行い、共に活動しています。

アンビシャス広場の開設にあたり

荻田青少年育成会連合会

会長 田口朝子

週5日制を迎え、子ども達の自然体験や集団遊び、地域とのふれあいを念頭に置き開設しました。イベントを設けた企画、日程などいろいろと変更しました。子ども達は形にとらわれず自由に遊べるのがお気に入りです。自発性がありストレスの少ない方法だと思います。ルールを守らず涙する子、それを癒す子、中にはリーダーシップのそなわった子、いろいろです。今と昔の違いは、思い切り遊んでいない子が多いことではないでしょうか。受け入れることが多く、自発的に発散する方法を見失っているのではと考えてしまいます。しかし、遊びの中にジュニアリーダー達が入るとやきもちを焼きたくなるほど活発化します。汗ビッシュヨリで遊んでいます。

中高生のボランティアがとても欲しいです。地域の協力も少しずつありますが、プレイヤーとして引張ってくれる育成者も欲しいです。

アンビシャス広場での参加者は十人二十人のあいだですが、子ども会、地域の活性化へつながっていく為にはいろいろと模索しています。



「昔のあそびコマ回しに挑戦」馬場小にて

めだかすくい in スポーツフェスタ

10月13日(日)に第二回スポーツフェスタの一環としてめだかすくいを行いました。

小さいため始めは皆苦戦していましたが、なかには十匹以上すくう強者も。金魚とはまた違った感じを楽しめたようです。



めだかは、なかなか素早かった！

南原第1・2子ども会 廃品回収体験

平成14年9月1日(日)8時～11時までの間で、子ども会では初めての廃品回収に取り組みました。子ども会で話し合いをして地域の皆さんに協力してもらい、育成会の役員さんがお手伝いをしてくれました。それぞれの場所に新聞・雑誌・ビン等を集め、南原浄水場前まで運びました。

『子どもの声』

○もっと多くの人に声をかけて出してもらったら良かったと思った。
○リヤカーも引けて楽しかった。
○きつかった。

※各地域で子ども会が廃品回収活動をしています。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



そば打ち体験

11月3日(日)総合体育館にて行われた子供フェスタで子ども達とそば打ち体験を行いました。



なかなか細く切れな～い。

編集後記

昔、子ども達の世界には大人が関与する事なく楽しい世界が作られていました。今、子どもの世界は大人が監視と関与で見守り、正しい道を歩む事に責任を負う社会へと変化しました。

町民会議では種々の生活体験に取り組んでいます。この活動が大きな実を結び、子どもがのびのびと豊かな感性を身に付け健やかに成長できる事を願い、行事の紹介等がお役に立てばと思っています。

(山本 節子)

今年も残すところあとわずか、町民会議の行事も順調に進んでいます。毎年同じような内容で苦労しています。

町民会議は、子供の健全育成のため、共に活動を推進してそれなりに実績を上げてきましたが、荻田に限らず最近では親子触れ合いの行事がやたらと目に付きます。これが子どもの自主性を阻害しているのでは？

子供らが自分たちだけでグループを作り、クラブやボランティア活動にと一人歩き出来る場を準備してあげたらどうだろうか？そろそろ活動を子供たち自身で進められるようにバックアップ体制を考えてもよい時期に来ているのでは？

(田畑 弘志)

編集・発行

荻田町青少年育成町民会議
すこやか編集委員会

☎093・434・1111

(内線390)